

科 目 名	ファッション造形基礎	単 位 数	3 単位	学科・学年	生活総合 科 2 年																																												
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)			副教材等																																													
目 標	家庭の生活にかかわる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ファッションの造形を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																																
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table border="1"> <tr> <td>①知識・技能</td><td colspan="5">デザインや着用目的に応じたファッション製品を製作するのに必要な基礎知識および技術を身に付けている。洋服・和服の製作に関する基礎的、基本的な技術を身に付けている。また効率的に製作できている。</td></tr> <tr> <td>②思考・判断・表現</td><td colspan="5">ファッション造形の基礎的・基本的な内容について思考を深め、デザインや用途に適した被服材料を選択できる能力を身に付けている。また美的にもしくは創意工夫やアイデアを生かした表現ができている。</td></tr> <tr> <td>③主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="5">衣生活の充実向上を目指してファッション造形に関心を持ち、被服製作に意欲的、計画的に取り組んでいる。</td></tr> <tr> <td rowspan="5">  </td><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr> <tr> <td>学習状況観察</td><td>—</td><td>—</td><td>◎</td><td>自己評価の実施</td></tr> <tr> <td>ワークシート</td><td>○</td><td>◎</td><td>○</td><td>課題ごとに提出</td></tr> <tr> <td>製作作品</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td><td>製作途中、終了後の提出</td></tr> <tr> <td>ペーパーテスト</td><td>◎</td><td>—</td><td>○</td><td>定期考査・検定筆記試験</td></tr> </table> ※表中の◎は観点の中でより重視する。 ○ 学習の過程で自己評価を実施するので、自らの学習状況をチェックし、目標到達に努めること。					①知識・技能	デザインや着用目的に応じたファッション製品を製作するのに必要な基礎知識および技術を身に付けている。洋服・和服の製作に関する基礎的、基本的な技術を身に付けている。また効率的に製作できている。					②思考・判断・表現	ファッション造形の基礎的・基本的な内容について思考を深め、デザインや用途に適した被服材料を選択できる能力を身に付けている。また美的にもしくは創意工夫やアイデアを生かした表現ができている。					③主体的に学習に取り組む態度	衣生活の充実向上を目指してファッション造形に関心を持ち、被服製作に意欲的、計画的に取り組んでいる。						評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	—	—	◎	自己評価の実施	ワークシート	○	◎	○	課題ごとに提出	製作作品	◎	◎	◎	製作途中、終了後の提出	ペーパーテスト	◎	—	○	定期考査・検定筆記試験
①知識・技能	デザインや着用目的に応じたファッション製品を製作するのに必要な基礎知識および技術を身に付けている。洋服・和服の製作に関する基礎的、基本的な技術を身に付けている。また効率的に製作できている。																																																
②思考・判断・表現	ファッション造形の基礎的・基本的な内容について思考を深め、デザインや用途に適した被服材料を選択できる能力を身に付けている。また美的にもしくは創意工夫やアイデアを生かした表現ができている。																																																
③主体的に学習に取り組む態度	衣生活の充実向上を目指してファッション造形に関心を持ち、被服製作に意欲的、計画的に取り組んでいる。																																																
	評価方法\観点	①	②	③																																													
	学習状況観察	—	—	◎	自己評価の実施																																												
	ワークシート	○	◎	○	課題ごとに提出																																												
	製作作品	◎	◎	◎	製作途中、終了後の提出																																												
	ペーパーテスト	◎	—	○	定期考査・検定筆記試験																																												
履 修 上 の 注 意	○ 実習中心の授業である。実技内容を正確に理解し、意欲的に取り組むようにする。 ○ 作品製作時は授業時間内に課題を終えるよう計画的に作業に取り組むこと。 ○ 欠席したり、時間内に出来ず進度が遅れた場合には、次の時間までに遅れを取り戻し、みんな一緒に次の段階へ進めるようにする。 ○ 被服室では、安全に配慮し器具を取り扱い使用した物は収納場所へ片づける、飲食物は持ちこまない、落書きや傷をつけない。																																																

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
第1学期	4	第1章 衣服の構成 1 人体と衣服 2 立体構成衣服と平面構成衣服	1 1	○被服の構成として人体の構造や機能、寸法や体型などと被服とのかかわり、洋服と和服を取り上げ被服の構成について理解する。	・農業クラブ実物鑑定競技の学習を兼ねる ワークシート
	5	第4章 和服の製作 1 製作の基礎 2 製作① 甚平 一重長着など	5 2 9	○和服に関する基礎的基本的な理論と技術について学びア～カの習得を目指す。 ア 和服の構成と名称 イ 材料の選択 ウ 寸法の見積もりと裁断 エ 縫製	ワークシート ・被服製作技術検定への取り組みを兼ねる場合がある。 (課題提出) (自己評価) (学習状況観察) (作品提出)
	6				
	7				
第2学期	9	3 着 装	2	オ 仕上げ カ 着 装	
	10	第2章 衣服の素材 1 衣服素材の種類 2 衣服素材の性能と選択 製作② 甚平 一重長着など	4 2 3 0	○繊維、糸、布の種類や特徴や性能、用途やデザインに応じた被服材料の適切な選択と取り扱いができるようにする。 ア 和服の構成と名称 イ 材料の選択 ウ 寸法の見積もりと裁断 エ 縫製	ワークシート 検定筆記試験 (課題提出) (自己評価) (学習状況観察) (作品提出)
	11	着 装		オ 仕上げ カ 着 装	・検定実技試験
	12	製作③	2		
第3学期	1	第3章 洋服の製作 1 製作の基礎 立体構成について 小物製作	3 2 2 5	○上半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。	ワークシート (ワークシート提出) (自己評価) (学習状況観察) (課題レポート提出)
	2				